Zechstein)

末ヲ以テ終リ

・トナ

シ上部二疊紀世

(Rothliegendes)

ハ之ヲ中生植物時代 (Mesophyticum)ノ初代

タノデアル

V

バ

普通地·

史ノ古

生代

ハ二疊紀ノ終末ヲ以テ其

終ト

ナ

スガ

古

生

植

物

時

代

(Palaeophyticum)

介下

部二疊紀

ナ

ス

ノデア

n

卽チ二疊紀

(Perm) ノ中頃ヲ以テ植物界ニー大變化ハ起ッ

盃狀體 ノ形狀、 鱗片葉ノ有無デ多數 , 變種、 딞 種

ガア

生代末ニ於ケル地球上ノ植物區系

〇古生代末ニ於ケル地球上ノ植物區系

理學博士 小 泉 源

動 N 自然自然 E 物 總テ植物界 デ 進 ア 化 發 ŀ 動 展 物 = 起ッ 跡 ヲ 變化 タ大ナ 基 ŀ ラ惹起 シ n テ區 變化 分 シ タ **≥**⁄ ハ 動物 ャ タ ・ウデ jν 界 地 ァ 質 起 辞 y 普通 **≥**⁄ ŀ モ 植 , 物 1 3 地史ハ皆動物界變遷 7. 進化 リハ先デアッテ 變遷 ラ基準 植物界 ŀ ノ歴史ヲ基 **≥**⁄ タ 地 三大 質 チ 時 ル變化 ŀ 代 1 シテ時代區 品 ガ 分 起 ŀ ッ 分 餘 タ ヲ 程 タ 異 X

物及 デ 此古生植 謂裸子植物時代 植物界二 ビ羊歯狀 物代 非常ナ優勢ノ部類 ノ終リ 植物 (Reign of Gymnospermae) 中生植 絕滅 デアッタ Lepidodendron, Sigillaria, Bothrodendron, Pleuromoia 物代ノ初ニ シ新ニ蘇鐵類、銀杏類、Bennettitales、 起ッタ植物界ノー大變化トハ如何ナルコト ガ始 マッ タコトデアル 松柏類等ノ裸子植物ガ漸次大 デア ッ タ 力 等ノ高等隱花 ŀ ニ優勢ト 云フニ、 今 ナ 植 ŋ

テ地球上ニ著明ナ植 石炭紀ナ 'n 夾炭 統 ト下部二疊 物 分布區 紀 (Bota-ヺ

₹.

ターノ植

物時

代デアル、此ニ記サン

トスルコトハ

此二

一疊石炭

紀 テ上部

一初

ト云フガ即

代ノ最

後

ノ世ヲ二疊石炭紀(Permo-Carbon)

地球上、

泥盆紀ニ初ラ現レ

シ陸生植物群

ハ上部泥盆世

=

更

=

進

ン

デ

Archaeopteris

Y

ゥ

ナ

羊齒

類

似

provinces) +

n

モノガ成立スルニ至ッタコトデア

ヤ

次ノ石炭紀 植 ·裸子植物ノ Callixylon 等ガ現レテ次ノ石炭紀植物群ノ 植物分布 ガ 植 區 ナ リ逐 物群ニ移リユ 鱗木類 ト云フャ Archaeopteris ゥ Protalepidodendron 7 ナ キ何等ノ急變化モナイ、 Æ 1 ハ 無 カッ 木賊類、 代 稱 サ ノミナラズ地球上何處ニモ同様ナ植物ヲ生ジ Archaeocalamites **先驅ヲナシタノデアル** 位 ナ ij 其 他尚 羊 歯狀! 木 類 此上部泥 裸 子植物 盆世 Eospermatopteris 植 其間 物 群 相互 ハ徐々 = 别 ŀ

植物 各地 下部石炭紀 Clepsydropsis 等ヲ主ナル要素トセ Lepidodendron, Bothrodendron, 濠洲 ナル森林ヲ以 モノガ澤山見ツカル、例へバ濠洲カラノ Lepidodendron ノ一種ハ蘇格蘭土カラノト區別シ難キ タガ尙未ダ他ノ高等隱花植物ナル Lepidodendraceae, Sigillariaceae, Calamariaceae, Sphenophyllales 及ビ裸子 ルニ次ノ二疊石炭紀 (Permo-Carbon)ナル時代ニ入ルト蘇鐵類、銀杏類、松柏類、真正木賊類等ノ祖 ハ此終リニ殆 ルニ此時代ニサシモ盛大デアッ 平行脈 様ノ植 ナ網狀脈 羊齒狀裸子植物ヤ、古留太木類ノ盛大ナルニ比スベクモナイ、又羊齒及ビ羊齒狀裸子植物ニハ其 カラノ羊歯 ノミ (Culm) 物 ラ被 ヲ有スル 有 種 1. 全ク絶 スル 類ヲ有シ Clepsydropsis ノーハ歐洲、西比利亞カラノモノト區別シ難イノ デ n 、ハ上部 ` モ 滅シ 7 葉ノモノガ多クナッタ、而シテ此ニ最モ特筆スベキハ本時代ノ初ニアタッテ地球上 ノガ多 テ居ッ ウニ 泥 夕 盆世ノ ナ カッタガ此時代ニナリテハ Asterocalamites, Archaeocalamites, Rhacopteris, Archaeopteris, Cardiopteris, タ、卽チ北周極地域カラ歐洲、北米、南米、亞弗利加、濠太刺利亞 ッタ、 而テ下部石炭紀ニモ Ŋ ルモノデアッタ、 Asterocalamites, Bothrodendraceae, Protocalamariaceae, Pseudoborniales ん 植物群 然シ此時代ハ未ダ ۱ر 更二偉大ナル繁榮ヲ ソレデ地球上各處ニ同一屬、 地球上ハ別ニ何等植物分布區 蘇鐵類、 Pecopteris, Odontopteris, Callipteris, Callipteridium ナシ 銀杏類、 何處 松柏 Æ 彼處 同一 類ノ ガ ト云フャウナモ Ŧ 皆高等 アル 種或ハ類似種ト云フャ 何者モ 如キ 現レ 隱花 例ガ澤 ナ 植 モノア ノハナク 力 物 先 (葉ガ 各類 ガ 山ア 現レ y 廣 ダ ゥ テ

於ケル地球上ノ

物界ヲ 南 北

二大分布

區域

别 Ÿ ્ર キ

大自然力

ガ

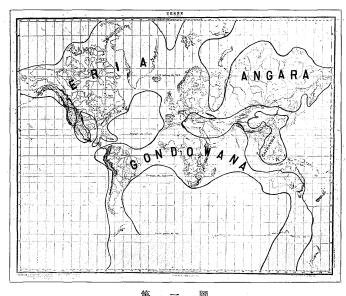
現

3

ŀ

7

北



第 圖 疊 石 炭 紀 海 陸 圖

極

要素 (Arcto-Carbonisches Elements) デ Lepidophytes,

球 V 地 タ 域デ 南區 デ ハ n 即チニ 圖 疊 石炭 紀 北 南 品 (Arcto-Carbonisches 半 卽 球 地 チ 二疊 域 デア 石炭 iv 紀

Gebiet.) 二疊石炭紀北半球地域

解剖 歐洲、 本 ゥ 地 力 時 力 池 限 圖 二疊石炭紀當時 N ノ 、沼澤林 ラ叉此 此 方 ŀ ` 7 ハ多分夫 沼澤 地 的 如 域 云 = N ノ二大陸ヲ含 北亞. 多 沼 方 特 シ 時代 1 澤 ァ 徵 多 (第二 フロラ」ヲ成 地 氣 弗 ンコ 17. 前 V ŀ = 代以 此 夫 ŀ 候 利 デ 泥 地 圖) ハ熱帯 ァ デ ク タ 1 加 , 域 現 北 北 7 × 炭 來 n Z, 今 ヲ以 = = 西比 n ガ Ŀ ブ 半 形 生 最 此 ラ キ 球 ス カ 的 主要 ラ 成 沼 時 ジ 利 テ デ T, Æ ッ 地 現 寧 タ木 多 代 サ ア 澤 亞 10 w 域 スナル 及 今 ッ 植 ŋ ケ П w = 氣候 テ其 森林 タ 本 物 東 ` F. 1 n シ 要素 1 ŀ 海 ハ ハ皆年輪 1 ~ 亞 テ 熱帶 考へラレ 詩 E 地 IJ 浸 V ハ温帯的 Eria, Angara 其處 1 代 1 方 ĵ 、二疊石炭紀北 群 7 Þ ンラン = ۴ 沼 包 ハ ガ 彼 X 島 テアッタ 少 處 デ ナ 澤 ÷ 括 绞 Ξ 各 達 F 7 ク ス 生 二廣 イ テ温帯 植 地 " セ ノ デ當 天 ダ ソ 物 = **≥**⁄ ガ 南 周 ナ 潟 モ

wana ト稱スル大陸ガアッテ南亞弗利加、

南米、

ルクランド島、



二疊石炭紀沼澤林

此「フロラ」ハ下部二疊紀マデ少許ノ變化アリシノミニテ繼續シタ 植物、古留太木類、裸子植物ノ Walchia(第三圖)類之ヲ代表シ、 本紀ノ大海浸ニョリテ成レル「テーチス」海ノ南半球ノ Calamaria, Sphenophyllum, Sphenopteris, Pecopteris、羊齒狀種子 (二) 二疊石炭紀南半球地域 (Antarcto-Carbonisches Gebiet.) Gondo. 第 三

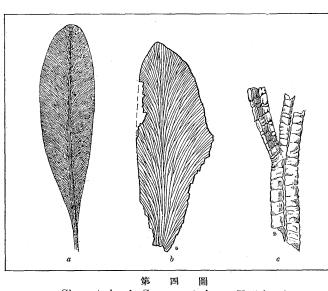
尚 Walchia.

囙 度

フ ガニ ス タン

濠洲、

ス



a. Glossopteris. b. Gangamopteris. c. Vertebraria.

ア デアル、卽テ此時代 Gondowanaland ニハ到ル處氷河流レ、 Elements)ナル次ノ特有要素ガアッタ 其附近二石炭紀南周極植物要素 へ Gangamopteris Flora ト呼じ常ニ 地域ノモノト全然異ッタ 及 F., 南極洲 ヲ包 括 シ モノデ之ヲ Glossopteris Flora テ居 ッ (Antarcto-Carbonisches 此大陸 氷河堆積物ヲ伴フモノ (第四圖 植 物 第

Gangamopteris (匠 Glossopteris (第四圖

見サレ 以上二屬ハ最モ著甚ナルモノニシテ現今マデ胞子モ Vertebraria (同 c) (之ハ Glossopteris ノ ナホ #* ルモ多分羊歯狀裸子植物ナルベシ

根莖ナ

何モ發

此 Glossopteris Flora ノ北限ハ中央亞細亞 北兩「フロラ」ハ此地方デ混合シテ居ッ 古留太木類ニハ Noeggerathiopsis. 本賊類ニハ Phyllotheca, Schizoneura 「カサイシア」(Cathaysia) 地域

及露

西

亞 デ 7 ニシ

テ

Þ

ャ

ゥ

南

要素ヲ含有スルヲ以ラ著甚ナ地域ガアル 此ニ叉二疊石炭紀北半球地域ノ内ナレド 、ソレハ Cathaysia 亦 别 ナル 植

・テ居ル 稱スル大陸デ現今ノ支那、 V ī シア ヲ主トシテ包括スル モ ノデ同り の朝鮮、 滿洲 フ 1 リ ピ

Cathaysia ノ植物區系要素トシテ最著甚ナルモノハ 《第五圖》デ大ナル攀緣蔓生植物デアル、葉ハ羽狀複葉デ長サ六○「セメ」、 Gigantopteris ト稱スル羊齒狀裸子植物ト目ザ 幅三〇「セメ」モアル、 葉ノ變態セ サルトー

第 Ħ. 嗇 Gigantopteris. ル攀縁器官ハ小枝ノ末端ニ鉤ヲ有シテヲ

ノヲ見ル

gantapteris Flora Sphenophyllum, Taeniopteris, 屬アルニ Cathaysia ニハ之ヲ產セズ却テ Angarodendrou, Coenodendron 等ノ植物 Nephropsis, Glottophyllum, Phyllopitys, pteris, Saportea, Plagiozamites 等ヲ産シ Flora トハ關係ナク今之ヲ Angara 大陸 サンド Cathaysia ヲ認メザルヲ得ナイ、卽テ Angara 大陸 尚 Cathaysia ノ特有屬タル Annulariopsis ノ植物區系ト比較スレバ自ラ亦大ナル差 Callipteris, Neurogangamopteris, ノ植物區系ヲ特ニ Gi-ト稱シ Grossopteris

古生代末ニ於ケル地球上ノ植物區系

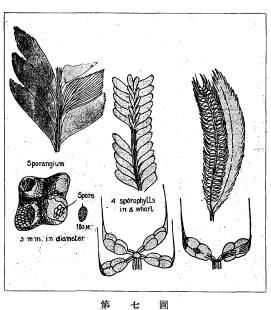
=Annularites=Lobatannularia)

(第八圖)、Cansitheca, Emplectopteris, Nystraemia, Tingia, Tingiostachya

古生代末ニ於ケル地球上ノ植物區系

物 代 球 大 地

第 六 圖 Annulariopsis.



Tingiostachya.

(第七圖) 大 Norinia, Asterocupulites **茚二疊紀ノ植物屬種** フル地體變動ガアッニ 地形 等ヲ **ル其他ニ非常・** 產

テ

ナ 比 化 ス

ヲ

之ヲ上

乾燥氣:

候

ナ

此レ ニバ來

7

植

シ 1

生 僅

更 共 Ŀ. ヲ蒙

> 疊 +

紀 至

層僅

ッソ ナ

完

= 部 著 北 シ 半

> 化 廣

惹 ナ 起

ン V A デ ナ

積 Þ

亙

テ 古

生 植 生物 IJ